

10.4<sup>水</sup>～9<sup>月・祝</sup>

# ザムザ阿佐谷

東京都杉並区阿佐谷北2-12-21 ラビュタビル B1F

前売・予約開始：2023年8月10日～

予約・問合せ

MyrtleArts(マートルアーツ)

Tel:03-6279-9688

arts@myrtle.co.jp

<http://www.myrtle.co.jp/arts>

作=くるみざわしん

演出=東憲司

町おこしのために  
放射性廃棄物の  
最終処分場の  
誘致に乗り出す  
3人の男達  
互いを支える固い結束が  
3人を追い詰める  
凶器に変わる

川口龍

根本大介

玉置祐也 (演劇集団)

# 同郷同 年 2023

異才を放つ二人の出会いが  
新たな演劇シーンをつくる！

精神科医で劇作家のくるみざわしん  
劇作・演出家で数々の演劇賞を受賞している東憲司



# 同郷同年

「日本の劇」戯曲賞  
2016年最優秀賞  
「第25回OMS戯曲賞」  
大賞受賞作

2023

作=くるみざわしん  
演出=東憲司

電力会社に就職していたかもしれない。山あいの谷の村に生まれ、大学進学のために都会に出た人間が故郷と離れないで就職を願えば、電力会社はファーストチョイス。収入は安定しているし、顔も立つ。ところが1986年のチェルノブイリ原発事故の後、大学生協の書店に平積みされた原発関連の本を手に取り、原子力産業のデタラメを知ってしまった。進路に迷い、元気がない私を見かねた同郷の先輩が食事に招いてくれた。先輩は私より一世代上で、電力会社に就職し、社宅に住んでいる。手料理を並べ、オール電化の利便性を語る先輩に私は「電気を原子力で作っているのか」と言ってしまった。先輩の手は止まった。殴られると思ったが、先輩は殴らなかつた。目の前の手料理が悲しかった。工学部から医学部に移って医師になり、あの夜のことを忘れていた私を2011年3月の東電福島原発事故が飲み込んだ。自分だけ原子力産業から逃げて良しとしていた愚かさになされた。あれから12年。国も電力会社も責任を認めない。まだ原発は動いている。その絶望を切り出したくてこの芝居を書いた。どこにもないように思うかもしれないが、光はある。観に来て欲しい。

くるみざわしん

美術：袴田長武 照明：泉次雄(ライズ) 音響：大貫誉 / 田中忍(エスイーシステム) 衣装：佐々波雅子 / 優花製作  
舞台監督：伊藤清一 宣伝美術：画・梶村ともみ / デザイン・福田真一 制作：秋元けい子 / 三浦伸子  
主催：MyrtleArts(マートルアーツ)

川口龍

根本大介

玉置祐也

チケット料金(税込・全席指定)  
前売一般4,000円 当日一般4,500円  
学生・U25席(前売・当日共)3,000円  
※学生・U25は要証明書提示

前売・予約開始 8月10日(木)～

チケット取り扱い  
チケットぴあ  
<http://t.pia.jp/> [Pコード 520-002]  
カンフェティ  
<http://confetti-web.com/doukyodounen2023>  
イープラス e+  
<https://eplus.jp/>

電話予約・メール予約・問合せ

MyrtleArts (マートルアーツ)  
<http://www.myrtle.co.jp/arts>  
tel.03-6279-9688



文化庁文化芸術振興費補助金  
(舞台芸術等総合支援事業(創造団体支援))  
独立行政法人日本芸術文化振興会

2023.10.4(水)～9(月・祝)

4 (水)	5 (木)	6 (金)	7 (土)	8 (日)	9 (月・祝)
—	—	14:00 1	14:00 3	14:00 5	14:00 —
19:00	19:00	19:00 2	19:00 4	—	—

- アフタートーク くるみざわしん×ゲスト(各回終演後)
- 1 市田真理 (第五福竜丸展示館学芸員)
- 2 東憲司 (劇作・演出家・劇団戯童主宰)
- 3 高野聡 (原子力資料情報室)
- 4 木村友祐 (小説家)
- 5 青木美希 (ジャーナリスト)

※開場は開演の30分前 ※受付開始は開演の45分前  
※劇場は地下のため、エレベーターをご利用の場合は、事前にご連絡をお願いいたします。

## ザムザ阿佐谷

東京都杉並区阿佐谷北2-12-21 ラビュタビルB1  
※阿佐ヶ谷駅北口より徒歩3分。TOAフィットネスクラブ裏手

